

浦安市学校間連携教育実施方針【概要版】

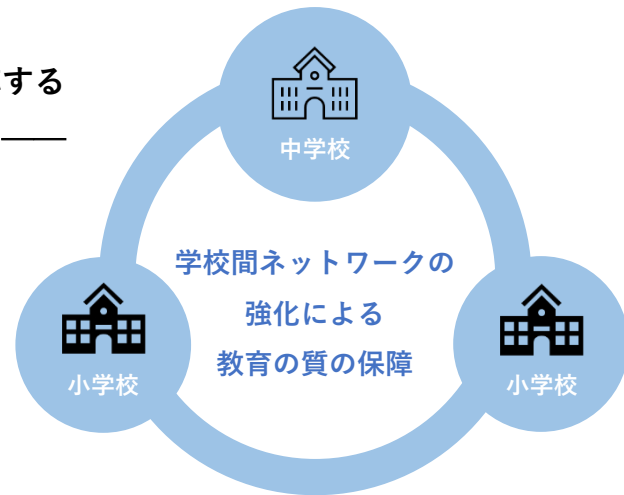
学校間連携教育の目的

——学校間の連携を構築・強化し、小規模校の課題に対応するとともに、地域の特色を生かした教育の更なる充実を図る——

➡ これらの取組を学校間連携教育（リンケージスクール）と呼び、令和8年度より推進します。

令和8年度リンケージスクール推進校（3中学校区）

- 入船中学校区（入船小、入船中）
- 富岡中学校区（富岡小、東野小、富岡中）
- 美浜中学校区（美浜北小、美浜南小、美浜中）



01

他校との連携による

新たな交友関係の構築

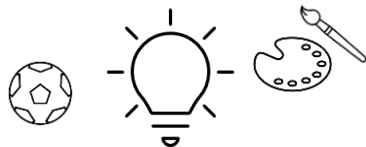
（他校の同学年との交流により生み出される地域としての一体感）



02

学習形態の多様化や
学びが広がることでの

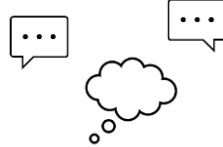
コミュニケーション力や 表現力の向上



03

多くの考えや意見に
触れる機会の増加による

学びの深まりや 思考の柔軟性の向上



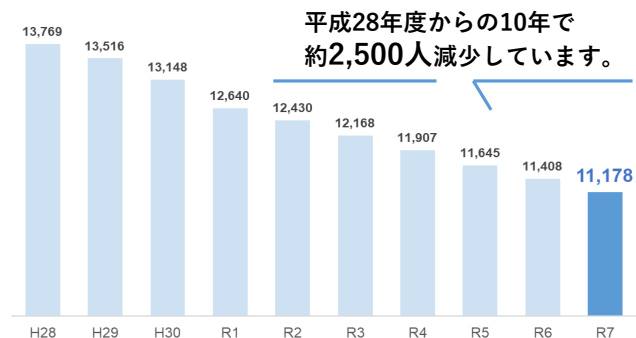
方針策定の背景

少子化により学校の小規模化が進む中、集団での学びや人間関係づくりに課題が生じつつあります。一方で、住宅の更新による状況の変化も見込まれるため、本市では学校統合に限らず、各校の良さや地域の特色を生かしながら教育の質を高めていくこととしています。

本方針は、これまでの園小中連携を土台に学校間のつながりを強化し、小規模校の課題を克服しながら、子どもたちのかかわりや学びをより豊かにすることを目的としています。

児童生徒数の減少

本市の児童生徒数は、複数の学校で小規模化の傾向が見られます。現時点で適正な規模で学級数が推移している小中学校も、将来的には児童生徒数が減少することが予測されます。



小規模校において想定される課題

小規模校では、児童生徒数や教職員数が限られているため、次のような影響が生じることがあります。

【学級数が減少することによる課題】

- ✓ クラス替えが全部または一部の学年でできず、児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- ✓ クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。
- ✓ 集団の中で自己主張したり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい。

【教職員数が少なくなることによる学校運営上の課題】

- ✓ 経験年数、専門性等バランスの取れた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となる。
- ✓ 教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重く、校内研修の時間が十分に確保できない。

基本方針

基本方針 1

学校規模の特性を生かした指導の充実

一人一人に目が届きやすく、教職員がきめ細かな指導ができることなど、小規模校の特徴を生かしたまま、学校規模による課題を最小限に抑え、さらなる教育の充実を図ります。

基本方針 2

多様な考えに触れる機会の確保

小小、小中の連携により、一定の集団規模を確保し、様々な形態での協働学習や体験学習を行うことで、多様な考えに触れる機会を確保し、思考の柔軟性の向上、社会性の醸成を図ります。

基本方針 3

児童生徒の教育的ニーズに応じた教育環境の整備

リンケージスクールの推進にあたっては、多様化する教育的ニーズに応じた環境を整え、児童生徒一人一人の可能性を伸ばします。

基本方針 4

地域との連携＜コミュニティ・スクールの活用＞

児童生徒のより良い学びの実現や生徒指導上の様々な課題の解決にあたっては、コミュニティ・スクール等の機能を活用し、地域と一体となって子どもを育てます。

具体的な取組内容

取組内容 01

合同授業の実施

例えば...

- メディアセンター、大型電子黒板等のICT機器を活用したオンライン授業により学習のまとめの発表を相互に行うほか、意見交換を行う。
- 音楽の合奏、合唱や図画工作、美術等における共同創作活動を行う。
- 体育の学習において、チーム編成のための人数が必要な種目を合同で行う。
- 総合的な学習の時間を活用した、発表の機会を設ける。

取組内容 02

各種行事の合同開催

例えば...

- 児童生徒が制作した作品展示
- 地域を巻き込んだ挨拶運動や地域清掃
- 学習発表会、合唱祭、スポーツ大会等
- 校外学習等の事前学習やまとめの発表を、複数校同学年間で行うほか、意見交換を行う。

取組内容 03

特色のある教育課程（カリキュラム）の編成

「園小中連携・一貫教育」の効果をさらに高めるため、特色のある教育課程の編成や教育カリキュラム、学校の時程の工夫などを検討します。教育課程に位置付けることで、教職員の異動や入れ替わりがあった場合でも、活動の継続性を確保しやすくなると考えられます。

また、小中が隣接する学校では時程を合わせるなどの工夫も考えられます。

これらの取組については、今後、中学校区内の実態や特性に応じて検討し、取り入れていく可能性があります。

取組内容 04

多様な連携による教育活動の充実

リンケージスクールの推進に当たっては、授業や行事の合同開催に加え、部活動の合同実施や教職員による合同の授業研究など、多角的な取組が求められます。各学校の状況に応じたリンケージスクールを進めるとともに、社会教育施設や学校支援コーディネーター、コミュニティ・スクールの機能等を地域人材と協働することで、児童生徒の交流を深め、学びの充実や社会性の育成、地域全体の教育力の向上につながります。